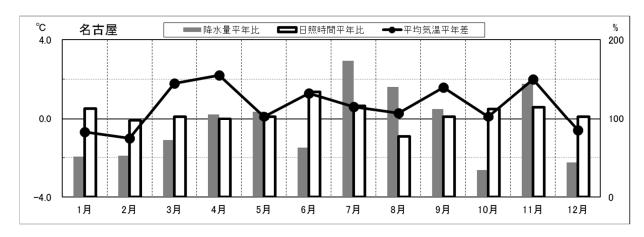
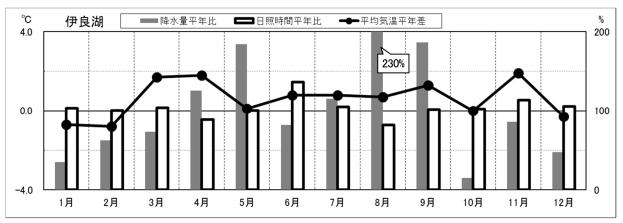
2022年(令和4年)の愛知県の天候

令和5年1月19日 名古屋地方気象台

【天候の特徴】

- ○年平均気温は、名古屋が16.9°C、伊良湖が17.0°Cで、ともに高くなりました。名古屋の月平均気温は、3月、4月、6月、9月、11月は暖かい空気に覆われやすかったためかなり高くなりました。その他の月は概ね平年並または低くなりました。
- ○**年降水量**は、名古屋が1578.0mmで平年並、伊良湖が1827.0mmで多くなりました。伊良湖の月降水量は、5月は低気圧や前線、8月、9月は台風の影響も受け、かなり多くなりました。一方、10月は低気圧の影響を受けにくかったためかなり少なくなりました。
- ○年間日照時間は、名古屋が2256.3h、伊良湖が2273.2hで、ともに多くなりました。名古屋と伊良湖の月間日照時間は、6月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったためかなり多くなりました。





名古屋、伊良湖の月平均気温・月降水量・月間日照時間の平年差・比の推移

- ○東海地方の**梅雨入り**は6月14日ごろでかなり遅く(平年:6月6日ごろ)、**梅雨明け**は 7月23日ごろで平年並(平年:7月19日ごろ)となりました。
- ○**台風**の発生数は25個(平年の発生数:25.1個)、上陸した台風は3個(平年の上陸数:3.0個)、東海地方に接近した台風は3個(平年の接近数:3.5個)でした。

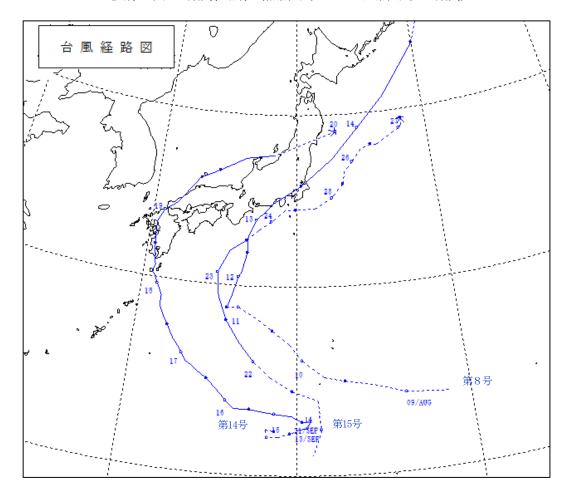
【2022年(令和4年)の台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数】

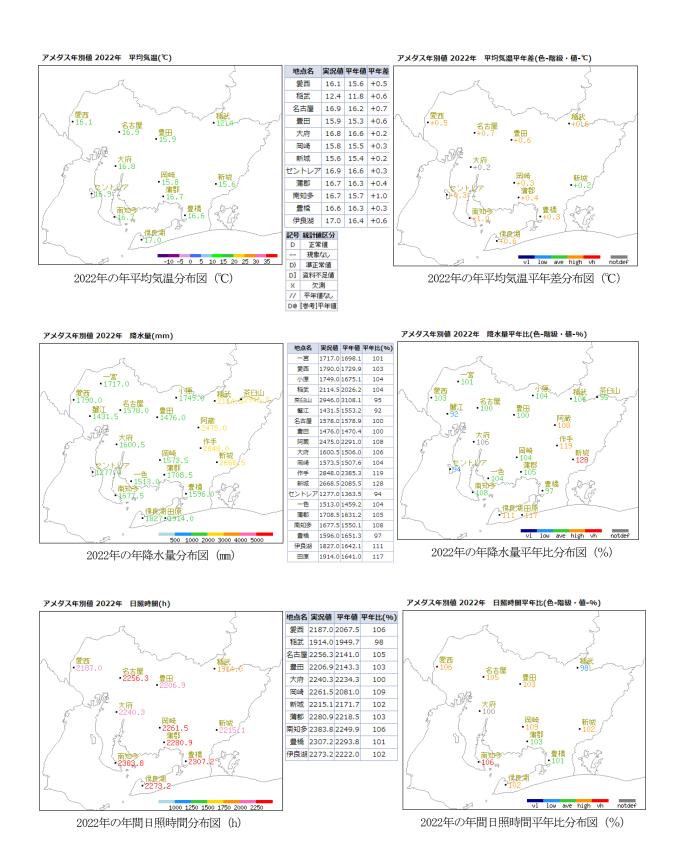
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
今年	発生数	0	0	0	2	0	2	2	5	7	5	1	1	25
	上陸数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	発生数	0	1	0	1	1	2	3	4	4	4	1	1	22
昨年	上陸数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
平年値	発生数	0.3	0. 3	0.3	0.6	1.0	1. 7	3. 7	5. 7	5. 0	3. 4	2. 2	1. 0	25. 1
	上陸数	_	_	-	_	0.0	0. 2	0.6	0. 9	1.0	0.3	ı	_	3. 0
	東海接近数	-	-	1	-	0. 1	0. 2	0.6	0.8	1. 2	0. 7	-	ı	3. 5

※東海地方に接近した台風:中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所(富士山を含めた15地点)から 300km以内に入った台風

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。 速報値であり、後日値が変わる可能性があります。

東海地方に接近した台風(第8号、第14号、第15号)の経路図 (実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間)





※ 愛西、稲武、豊田、大府、岡崎、新城、蒲郡、南知多及び豊橋において、日照時間の値は推計気象分布(日照時間)の 推計値、平年値は推計値の平年値を使用しています。

【季節別の概況】

○冬(前年12月~2月)

12月前半に低気圧や前線の影響を受けた時期がありましたが、12月後半以降は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

名古屋の3か月の平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並となりました。

○春(3月~5月)

3月は移動性高気圧に覆われやすくなりましたが、4月から5月にかけては低気圧や 前線の影響により曇りや雨の日が多い時期がありました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は平年並、日照時間は平年並となりました。

○夏(6月~8月)

夏を通して暖かい空気に覆われやすかったため、平均気温が高くなりました。 名古屋の3か月の平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並となりました。

○秋 (9月~11月)

10月の中旬から11月は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、日照時間が多くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は平年並、日照時間はかなり多くなりました。

〇12月

前半は高気圧に覆われた日が多く、後半は冬型の気圧配置となった日が多くなりました。このため、晴れた日が多くなり、月降水量は少なくなりました。また、下旬には強い冬型の気圧配置となった日があり、寒気の影響を受けたため、月平均気温は低くなりました。

名古屋の月平均気温は低く、月降水量は少なく、月間日照時間は平年並となりました。

【2022年(令和4年)の冬日・真夏日などの日数】

日最低気温が0℃未満の冬日の日数は、名古屋は平年値および前年の値(2021年)を上回り、伊良湖は平年値および前年の値を下回りました。また、日最低気温が25℃以上の日数、および日最高気温が30℃以上の真夏日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値および前年の値を上回りました。日最高気温が35℃以上の猛暑日の日数は、名古屋は平年値および前年の値を上回り、伊良湖は平年値を下回り、前年の値を上回りました。

	日最低気温が0℃ 未満(冬日)の日数			日最低気 以上のE		$^{\circ}$	日最高気以上(真		℃ の日数	日最高気温が35℃ 以上(猛暑日)の日数			
	2022年	平年	2021年	2022年	平年	2021年	2022年	平年	2021年	2022年	平年	2021年	
名古屋	28	23.8	22	35	25.6	27	88	69. 7	66	16	15. 0	8	
伊良湖	3	5. 9	6	33	21. 1	21	69	51.0	47	3	4.0	2	

【2022年(令和4年)の月別平均気温(℃)・降水量(mm)・日照時間(h)】

名古屋		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
	本年	4.1	4.5	11.0	16.8	19.5	24.3	27.5	28.5	26.1	18.7	14.6	6.6	16.9
平均気温 (°C)	平年値	4.8	5.5	9.2	14.6	19.4	23.0	26.9	28.2	24.5	18.6	12.6	7.2	16.2
	平年差	-0.7	-1.0	+1.8	+2.2	+0.1	+1.3	+0.6	+0.3	+1.6	+0.1	+2.0	-0.6	+0.7
	階級	低い	低い	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い	平年並	平年並	かなり高い	平年並	かなり高い	低い	高い
	本年	26.0	34.0	84.5	134.5	164.0	117.5	366.5	196.0	260.0	56.0	114.0	25.0	1578.0
降水量	平年値	50.8	64.7	116.2	127.5	150.3	186.5	211.4	139.5	231.6	164.7	79.1	56.6	1578.9
(mm)	平年比	51%	53%	73%	105%	109%	63%	173%	141%	112%	34%	144%	44%	100%
	階級	少ない	少ない	少ない	平年並	平年並	少ない	多い	多い	平年並	かなり少ない	多い	少ない	平年並
	本年	196.8	170.9	205.3	200.2	210.5	203.8	192.8	155.5	163.8	189.8	191.7	175.2	2256.3
日照時間	平年値	174.5	175.5	199.7	200.2	205.5	151.8	166.0	201.3	159.6	168.9	167.1	170.3	2141.0
(h)	平年比	113%	97%	103%	100%	102%	134%	116%	77%	103%	112%	115%	103%	105%
	階級	多い	平年並	平年並	平年並	平年並	かなり多い	多い	少ない	平年並	多い	多い	平年並	多い

伊良	良湖	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
	本年	5.3	5.5	11.1	16.1	18.9	23.0	26.9	28.1	25.7	19.1	15.5	8.3	17.0
平均気温	平年値	6.0	6.3	9.4	14.3	18.8	22.2	26.1	27.4	24.4	19.1	13.6	8.6	16.4
(°C)	平年差	-0.7	-0.8	+1.7	+1.8	+0.1	+0.8	+0.8	+0.7	+1.3	+0.0	+1.9	-0.3	+0.6
	階級	低い	低い	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い	高い	高い	かなり高い	平年並	かなり高い	低い	高い
	本年	21.5	42.5	88.5	174.0	301.5	146.5	184.0	265.5	449.0	33.0	91.0	30.0	1827.0
降水量	平年値	61.9	68.3	121.5	138.8	163.5	179.6	159.6	115.5	240.6	223.9	106.0	63.1	1642.1
(mm)	平年比	35%	62%	73%	125%	184%	82%	115%	230%	187%	15%	86%	48%	111%
	階級	少ない	少ない	少ない	多い	かなり多い	少ない	平年並	かなり多い	かなり多い	かなり少ない	平年並	少ない	多い
	本年	186.0	177.2	208.7	178.4	205.5	211.7	203.9	190.8	171.3	167.2	188.1	184.4	2273.2
日照時間	平年値	180.1	176.1	201.3	201.3	205.1	155.5	194.4	234.2	169.0	164.1	166.0	174.9	2222.0
(h)	平年比	103%	101%	104%	89%	100%	136%	105%	81%	101%	102%	113%	105%	102%
	階級	平年並	平年並	平年並	少ない	平年並	かなり多い	平年並	少ない	平年並	平年並	多い	多い	多い

(注)

- 1. 平年値は1991~2020年の資料から求めました。
- 2. 「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられるように決めています。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現します。
- 3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ (日別値) に欠測等が 含まれていることを示します。)付きの値 (準正常値) は通常のものと同様に扱うことができますが、]付きの値 (資料不足値) については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数 (統計に用いた、品質が十分な日別値の数) を参考にして使用してください。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」としました。
- 4. この資料は速報なので、後日値が変わる可能性があります。

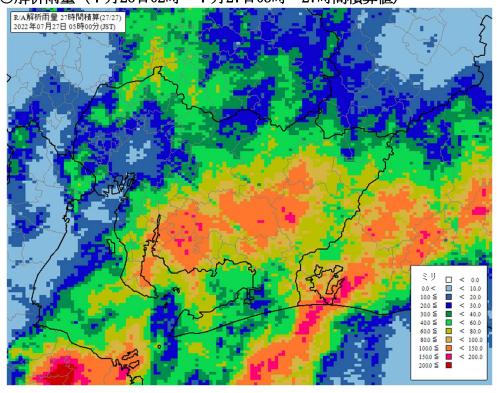
【トピックス】

7月26日~27日の大気の状態不安定による大雨

26 日から27 日は、南から高気圧の縁を回る南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となりました。このため、愛知県では、26 日夜遅くから27 日未明に猛烈な雨の降った所がありました。

26日には、日最大1時間降水量がアメダス岡崎で67.5mm、アメダス作手で58.0mmを、また、日最大10分間降水量がアメダス一色で21.0mmを観測し、7月の1位の値を更新しました。27日には、アメダス一色で、日最大1時間降水量64.5mmを観測し、7月の1位の値を更新しました。

○解析雨量(7月26日02時~7月27日05時 27時間積算値)



- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

8月30日~9月2日の前線停滞による大雨

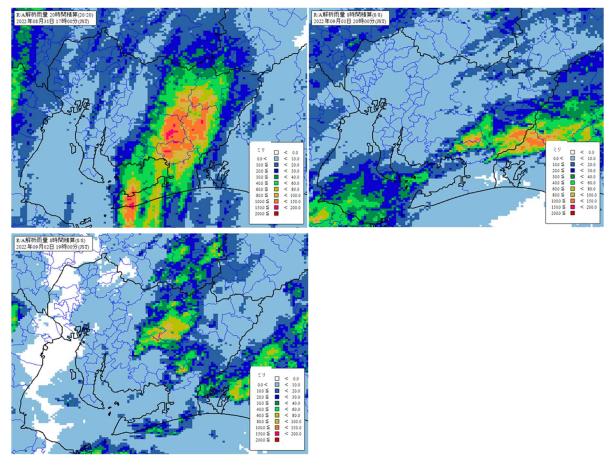
8月30日から9月2日は、前線が東シナ海から本州を通って日本の東から千島の東にかけてのびていました。また、8月31日に日本海にあった低気圧は9月2日には千島の東に進みました。この前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、愛知県では大気の状態が非常に不安定となりました。

アメダス伊良湖では、30 日に日最大 10 分間降水量 22.0mm、31 日に日最大 1 時間 降水量 80.5mm を観測し、8月の1位の値を更新しました。

○解析雨量 (左上:8月30日21時~8月31日17時 20時間積算値)

(右上:9月1日12時~9月1日20時 8時間積算値)

(左下: 9月2日11時~9月2日19時 8時間積算値)

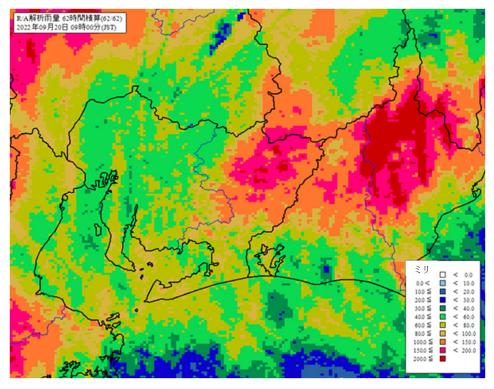


- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

台風第14号による大雨

台風第14号は、9月18日夜から19日朝にかけて九州を縦断した後、本州の日本海側を北東に進み、20日03時に温帯低気圧に変わりました。愛知県では台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となり、東部では降り始め(17日19時)からの総雨量が、多い所で200ミリを超える大雨となりました。また、台風の接近に伴い強い風が吹き、海上ではうねりを伴ってしけとなりました。

○解析雨量(9月17日19時~9月20日09時 62時間積算値)

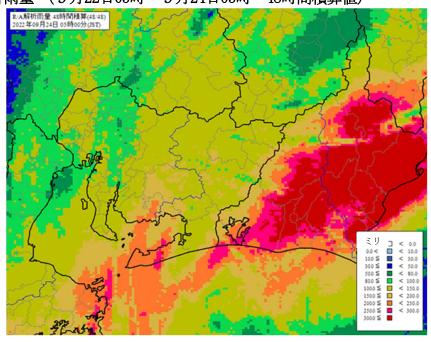


- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

台風第15号による大雨

台風第15号は、9月22日09時に日本の南の海上で発生し、その後北上した後、23日21時に紀伊半島の南で熱帯低気圧に変わりました。愛知県では、台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となりました。23日夕方から夜遅くにかけては線状降水帯が発生し、特に東三河南部では猛烈な雨が降り、降り始め(22日5時)からの総雨量が多い所で300ミリを超える大雨となった所がありました。

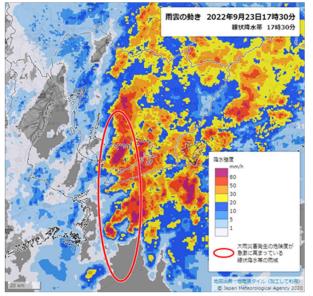
○解析雨量 (9月22日05時~9月24日05時 48時間積算値)

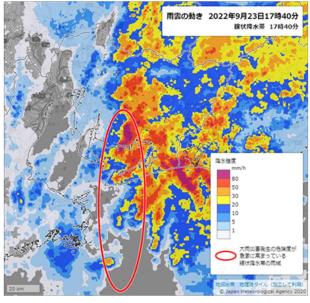


- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

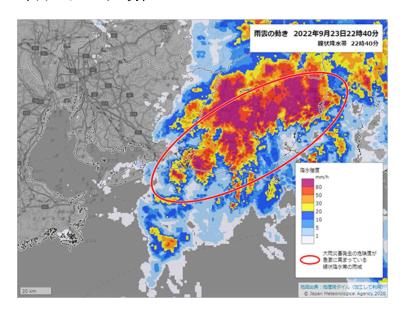
○線状降水帯の発生状況 赤い楕円:線状降水帯の雨域

(左:9月23日17時30分 右:9月23日17時40分)





(9月23日22時40分)

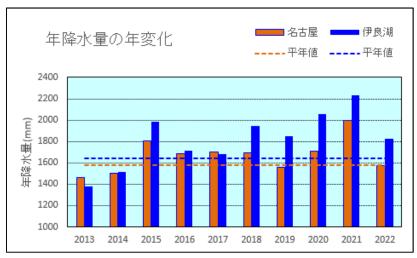


[参考]

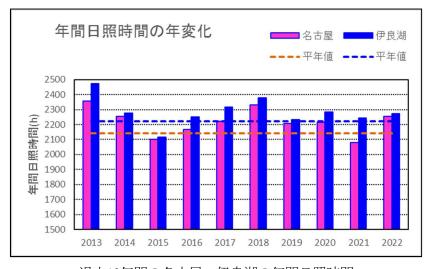
【年平均気温・年降水量・年間日照時間の年変化図(2013~2022年)】



過去10年間の名古屋、伊良湖の年平均気温



過去10年間の名古屋、伊良湖の年降水量



過去10年間の名古屋、伊良湖の年間日照時間